

# 市電延伸の検討について～概要～

## 1. 基本方針について

誰もが移動しやすく暮らしやすい「多核連携都市」の実現にあたり、公共交通利用の選択肢を増やすとともに、定時性・速達性に優れた鉄軌道を更に充実させるため、市電延伸の検討に取り組んでいる。

## 2. 延伸ルートの検討について

### ○検討方面について

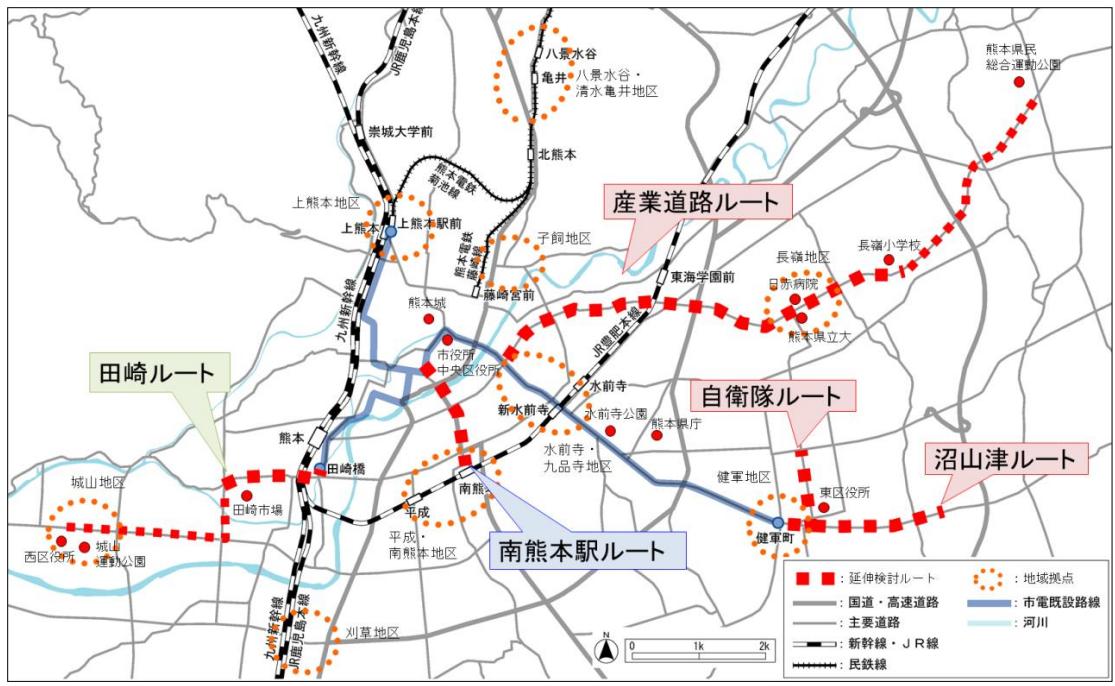
まちづくりの視点を踏まえた基幹公共交通の機能強化、広域都市圏を見据えた公共交通ネットワークの形成の観点から検討を行った。

➡ 東部方面、田崎方面、南熊本駅方面を選定。

### ○平成27年度 事業性の検討

3方面について、導入空間、採算性、道路交通への影響の観点から検討を行った。

➡ 検討の結果、5ルート(産業道路ルート、自衛隊ルート、沼山津ルート、田崎ルート、南熊本駅ルート)を選定。



3方面5ルートについて、現況の道路幅員、支障物関連、道路混雑度、概算事業費、延伸区間の収支等の観点から調査。

➡ 比較検討の結果、相対的に優位な2ルート(自衛隊ルート、南熊本駅ルート)を選定。

### ○平成28年度 事業性の精査(自衛隊ルート、南熊本駅ルート)

#### <調査内容>

- 概算事業費
- 費用便益
- 収支見込
- 利用者見込

※精査にあたって設定した整備形態

- 軌道(単線/複線)
- 導入空間(走行ルート、センターリザーベーション/サイドリザーベーション)
- 導線数等(維持/縮小)

等

上記の整備形態の項目を組み合わせた様々な検討案を作成し、それぞれの効果や影響等について、概算事業費など多角的に検討を行った。

➡ 市電延伸については、まずは「自衛隊ルート」を優先して検討。

## ○自衛隊ルートについて

### <概要>

- 整備延長：約1.5km
- 概算事業費：約100～130億円
- 費用便益：1.0～1.3
- 収支見込：ランニングコストで見ると一定の黒字を確保の見込み。
- 利用者見込：新規公共交通利用者見込は約45万人/年



## 3. 平成29年度スケジュール

### ○施設管理者の意見等の把握(8月に実施済)

- 対象：自衛隊ルート沿線の公的施設等(19施設)
- 実施内容：①施設勤務者・施設利用者の人数、通勤手段、利用目的  
②市電延伸についての意見(利用見込み、要望等)  
③施設運営への影響(敷地の利活用、自動車の出入り等) 等

頂いたご意見(抜粋)

- 市電終点である健軍町電停から歩いて来る利用者が多いため、施設周辺に電停ができるのであれば施設利用者の利便性向上に繋がる。
- 自動車利用も多いため、検討にあたっては、自動車による出入りに影響が出ないようにして頂きたい。
- 道路の高木が大きくなりすぎているため、自動車を利用した敷地の出入りの際に、歩行者、自転車等が見えにくい。また、台風等の強風で枝が折れたこともあり危険である。

### ○市民利用意向調査(アンケート)・市民懇話会(11月～実施)

- 対象：自衛隊ルート沿線の住民等
- 実施内容：①市電延伸の検討についての経緯説明  
②市電延伸についての意見(利用意向、整備形態等)

※その他、全市民を対象としたwebアンケートも実施予定